

度重なる台風9号・10号の影響による大雨によって橋梁が流され、運行を休止していたJR石勝線が12月22日、約4ヶ月ぶりに運行を再開しました。

運行再開を記念して、帯広発札幌行きのスーパーとかち2号と札幌発釧路行きのスーパーおおぞら1号の新得到着に合わせて、町商工会や観光協会関係者、町議会議員ら約30人が集まり、駅の1番ホームで横断幕の掲示や小旗による歓迎を行いました。改札前では町のペットボトル水「雫」、巡るこが町のキャラクターのそばレッドによって乗降者に配られました。

J Rを通勤・通学に使っている人たちは「これでだいぶん楽になる」と安心した様子で話し、管外からの観光客の交通手段が再開したことで、町の活気もこれから戻ってきそうです。

また、運行再開に合わせて、8月末に閉鎖した駅構内のキヨスク跡地で町商工会が運営するアンテナショップ「新得ステラステーション」がオープン。この店舗では、新得そばやチーズ、しんとく焼きなどのお土産の販売のほか、カフェスペースを設けており、コーヒーなどを飲むこともできます。当日は、オープンを記念して牛乳で

J R運転再開を歓迎 JR再開に合わせて新得ステラステーションがオープン



オープンした「新得ステラステーション」



横断幕と小旗でスーパーおおぞらを歓迎

乾杯した後、友好都市である山形県東根市産のリンゴが来場者らに配られました。開店後、早速お茶を買っている人の姿も見られました。

商工会の湯浅悟史会長は「この店舗は、お土産の需要と町の情報発信を担っていく。駅から始まる町づくり、暮らしやすい町づくりにつながるよう期待したい」と話していました。



この取り組みは、JALきた北海道、ひがし北海道応援キャンペーン『行こう！北海道へ』の一環として行われており、JALグループのネットワークを活かし、台風の被害を受けて低迷している北海道の観光需要の創出や地域活性化に向けた取り組みとして、3月まで様々な旅行プランの提供などが行われています。



厚生協会（鈴木政輝理事長）が12月28日、「感謝の集い」をわかふじ寮の食堂で開催し、利用者をはじめ、町議会議員、福祉施設長ら約170人が集まりました。

この集いは、関係者へ感謝をするとともに、同協会の1年の事業報告を兼ねて行われています。

鈴木理事長が「平成28年は利用者には一生懸命に仕事を頑張っていた。また、関係者には台風の際など様々な場面で協力いただき、感謝したい。今日はみなさんに楽しんでいただき、来年は最高の年にしたい」とあいさつ。菊地康雄町議会議長の乾杯で集いは始まり、利用者らはいいし料理に舌鼓を打ちながら会話をし、楽しみながら1年を締めくくりました。

関係者へ1年の感謝 を込めて 厚生協会「感謝の集い」

台風被害に際して 多くのご支援をありがとうございます

これまでの寄付金・義援金総額9442万6284円
総件数1141件 12月28日現在。前号掲載済みのものは除く。順不同 敬称略

義援金

ありがとうございます

（町内で被災された方の生活支援や再建のために、被災の程度に応じて直接被災された方にお届けします）

【30万円】 凌友支援の会（東京都）、新得町副町長・教育長・新得町役場課長職等連絡協議会【10万円】 鈴木勢子（札幌市）【8万円】 高野山真言宗北海道青年教師会【7万6千円】 札幌友の会、札幌第三友の会、帯広友の会【3万4千3百8円】 十勝復旧がんばろう集会実行委員会、実行委員長 斎藤明（帯広市）【3万1千5百2円】 がんばろう十勝プロジェクト代表 葛西（帯広市）【3万円】 ムラヤマ カズヒサ【2万8千7百96円】 鹿児島県建設業協会 鹿児島支部 支部長 野添正文【2万円】 琴似教会幼稚園 杉本悦子（札幌市）【1万3千6百96円】 さほろ酒造（株）募金箱（新得町）【1万3千3百00円】 三友西町内会【1万3千042円】 新得旅館募金箱（新得町）【1万円】 有太田軽鉄（帯広市）、太田敏市（同）、太田尚子（同）、ナクイヒロシ、エニワシチヨウナйкаイレ【7千円】 ハバナカナオキ【5千円】 滝川聖（旭川市）【4千円】 株式会社エル・三笠レーシング（札幌市）【3千円】 クリスミスコンサート20 舩屋繁和（札幌市）【1千円】 村上貴之（愛知県）

寄付金

ありがとうございます

（道路の再建など町が行う災害復旧、復興事業の財源として、また用途を指定された場合は、その用途で活用させていただきます）

【300万円】 株興新建設 代表取締役 野々村勇夫（新得）【200万円】 匿名の方（帯広市）【100万円】 株興木材工業（新得町）【20万円】 北海道民主医療機関連合会会長 堺慎（札幌市）【10万円】 カーフマネジメントオフィス合同会社 羽田顕治（1万円） 橋場紀子（札幌市）【6213円】 八雲養護学校

ふるさと納税での緊急寄付分

【20万円】 上条隆典（群馬県）【13万5千円】 船津重宏（東京都）【10万円】 井上源三（東京都、足立区）（同、匿名の方（東京都、大阪府）【5万3千2百00円】 鈴木学（函館市）【5万円】 中国江里人（大阪府、小川清隆（愛知県、匿名の方（東京都）【3万円】 高橋裕一（福島県、匿名の方（兵庫県、東京都）【2万5千円】 金子文恵（東京都）【2万円】 岩澤智子（札幌市、匿名の方（東京都2人、福島県、神奈川県）【1万2千円】 中込貴雄（埼玉県）【1万円】 大塚正輝（神奈川県、森田江利子（埼玉県、井原真理子（兵庫県、江端憲一（愛知県、永野なおみ（広島県、安間邦雄（砂川市、匿名の方（札幌市3人、三重県、千葉県2人、大阪府、静岡県、東京都2人、釧路市2人、神奈川県）【8千円】 匿名の方（東京都）【5千円】 佐々木ルリ工（東京都、岡嶋雅之（札幌市、大澤淳一（神奈川県、池崎淳（大阪府、堀正人（愛知県、匿名の方（東京都、兵庫県、札幌市、千葉県）

※銀行振り込みされた場合、氏名のカタカナ表記や氏名の途中で切れている場合もありますことをご了承ください。

皆様の善意を 被災者の方々へ

災害義援金配分委員会が第2次配分を決定

町は12月20日、町内会や福祉団体の代表者ら6人で構成する災害義援金配分委員会を開催し、台風10号による豪雨被害で被災した方を対象とした義援金の配分を決定しました。10月に支給した第1次配分に続き、2回目の配分。

配分対象は、住宅及び生活家財に被害を受けた方で、被害時にその住宅で生活をしていただ方（死亡、家屋全壊、家屋半壊、床上浸水、床下浸水（土砂流入）で被害程度に達して12月28日に合計22世帯に18万円、160万円、総額1298万円が配分されました。

10月5～6日に行われた第1次配分では21世帯に490万円を配分。その後、2世帯を追加し、総額510万円が配分されており、12月13日までに受け付けた義援金2935万2817円のうち、1次・2次配分合わせ61・6%の1808万円が配分されています。

なお、義援金の受け付けが一ヶ月延長されて12月30日までにいただいたことにより、2月中に第3次配分を行う予定としています。

生徒の提案から寄付 金が届く

八雲養護学校から寄付の申し出

八雲養護学校から寄付の申し出があり、その代理として新得高等支援学校の生徒が12月5日、町長室を訪れ、代表して小菅竜海くんが浜田正利町長に寄付金を手渡しました。

八雲養護学校の生徒は総合学習の時間にボランティアについて学んでおり、担当教諭から新得町の被害を聞き、「台風被害のあった新得町にある新得高等支援学校に寄付金を送ろう」と生徒から提案がありました。支援学校には被害がないため、より必要としている町に使ってもらおうと町への寄付となりました。

寄付の様子は八雲養護学校に映像中継されました。



代理として贈呈した小菅くん（左）と浜田町長